

東シナ海ブロック水産業情報

No. 131(2025年10月~12月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
		<p>○玄海 【情報発信】 ・沿岸域(5地点)の水温・塩分情報の発信。 ・漁海況情報、漁場環境情報、赤潮、貝毒PL情報等をHP及びFAXで発信。 【赤潮情報】 ・赤潮の発生は確認されなかった。 【貝毒情報】 ・12/10に実施した佐賀県飯屋湾における貝毒原因プラントン分布調査で、麻痺性貝毒の原因となるギムノディニウム カテナータムが最大1,216細胞/L、アレキサンドリウム属が最大288細胞/L確認された。 ・12/11に当該湾の養殖マガキを採取し、検査機関へ麻痺性貝毒分析を依頼したところ、12/18に同検査機関より最大7.4MU/g(規制値4.0MU/g)の麻痺性貝毒の検出が報告された。 ・12/18に佐賀県が同湾沿岸の漁協(支所含む)に対して、当該海域の養殖マガキおよび天然二枚貝の採捕・出荷の自主規制を行うように要請した。 ・12/24に当該湾における貝毒原因プラントン分布調査で、ギムノディニウム カテナータムが最大111,280細胞/L、アレキサンドリウム属が最大64細胞/L確認された。</p>		

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
		<p>10月~12月の赤潮発生状況は、以下の3件であった。 ノクテルカ・シンチランス(津久見湾)が計1件 漁業被害なし メソディニウム・ルブラン(入津湾)が計2件 漁業被害なし</p>	